

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

# 銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 島田 洋二郎

副会長 松本 恭一

幹事 石毛 充

会計 金子 芳則

2016~2017年度 RI テーマ

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

2016~2017 RI 会長 ジョンF. ジャーム



例会日時 毎週水曜 12:30~

例会場 銚子商工会館 5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2921号 (2016年10月26日発行)

## 今週のプログラム

「私の職業奉仕感」

加瀬 貞治 会員

## 前回例会報告 (10月19日)

ガバナー公式訪問合同例会

点 鐘 : 島田 洋二郎 会長

国歌君が代斉唱

ロータリーソング: それでこそロータリー

四つのテスト唱和

ビジター紹介

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 青木 貞雄様

第7分区ガバナー補佐 鈴木 勝彦様

地区幹事長 藤崎 政弘様

地区副幹事 宮田 明俊様

補佐幹事 小川 不二夫様

補佐幹事 鈴木 英人様

成田コスモポリタンRC 長谷川 浩史様

## 会長挨拶

今日は、ガバナーをお迎えしての銚子東、銚子ロータリークラブ合同公式訪問例会となります。

まずは、青木ガバナーにおかれましては、9月の24・25日の地区大会お疲れ様でした。25日に成田ビューホテルから本大会の会場までバスが用意されていましたが、ガバナー自らロビーに立たれてバスへの誘導をされていました。ガバナーのお人柄が現れた一幕だったと思います。また、この後銚子ロータリークラブの新入会員入会式がございます。ガバナーには是非とも神津新入会員にロータリーバッジをお付け頂きますようお願い致します。

また藤崎幹事長には地区大会第一日目の総合司会、お疲れ様でした。藤崎様には銚子ロータリークラブの杉山会員が色々とお世話になっています。ご本人は今、北京へ出張中ですが皆様に宜しくお伝え下さいとのことでした。地区副幹事の宮田様、そして成田コスモポリタンロータリークラブの長谷川様にはご出席を頂き有難うございます。そして、当分区の鈴木ガバナー補佐、小川・鈴木両幹事には何度も銚子までお運びを頂いております。改めて今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

3ヶ月前の7月20日にも、銚子ロータリークラブ60周年記念例会として、2012-13年度RI会長・田中作次様をお迎えして、銚子・銚子東ロータリークラブの合同例会として開催を致しましたが、八日市場ロータリークラブ、旭ロータリークラブの皆様にもご参加頂き、5階のこの会場がギッシリ満員となる例会でした。本日のガバナー公式訪問例会も、空席も無く一杯となっています。

さて、本年度青木ガバナーはテーマを「感謝と挑戦」とされました。



会長・幹事懇談会 (会議所会頭室)



第2790地区

ガバナー 青木貞雄 (成田コスモポリタンRC)

広報・会報委員会 委員長 信太 秀紀

委員 金子 芳則

ガバナーの活動方針につきましては地区研修協議会の際、又、クラブ活動計画書においても皆さんご確認済みだと思いますのでここでは詳しく触れませんが、その中でガバナーは「ロータリーに入って良かったと思う活動と運営を」と言われています。ロータリーに限らず、単なる親睦団体、奉仕団体、楽しいだけの仲良しクラブでは長続きはしません。自分自身が一歩でも二歩でも向上できることが、自ずとそのクラブへの係わりを深めていくのだと思っています。白鳥研修リーダーは「ロータリーは思想であることを強く意識したい」と言われています。私どもは国際ロータリーの構成員でもありますので、その方針をキチッと受け止めた上で、クラブの充実、奉仕の理想に努めていかなければならないと考えます。

最後になりますが、この公式訪問はガバナーと顔を向き合い直接意見交換のできる貴重な機会でもあります。特に今年は規定審議会の結果を受け、定款も大きく変わりました。ガバナーのお話をしっかりと聞かれ、クラブ協議会では忌憚のない活発な質疑応答をして頂ければと思います。本日の合同例会が実り多い公式訪問となることを祈念致しまして、両クラブを代表しての会長挨拶とさせていただきます。

## 入会式

神津 裕之会員



事業所：千葉科学大学  
相談役  
職業分類：大学  
カウンセラー：上総泰茂会員



## 幹事報告

【週報拝受】八日市場 RC、成田空港南 RC

- 1) ハイライトよねやま 1 9 9
  - 2) 地区ゴルフお礼状
  - 3) 佐倉中央 RC 例会変更についてのお知らせ
  - 4) 米山奨学委員会より卓話依頼
- …以上、ガバナー事務所
- 5) 創立 50 周年記念誌拝受 …新千葉 RC

## 会員の記念日

なし

## ニコニコBOX

◇金島 弘会員

神津さん入会お待ちしております。  
ロータリーを楽しんで下さい。



## ガバナー公式訪問卓話

国際ロータリー第 2790 地区

ガバナー 青木 貞雄様 (成田コスモポリタン RC)



2016-17 年度ガバナーを拝命しております成田コスモポリタン RC の青木です。

地区大会記念ゴルフ大会は、想定を超える豪雨により銚子 RC 以来 6 年振りの途中中止となったため、参加いただいた方には申し訳なく思っていますが、地区大会は天候にも恵まれ、多数の皆様参加をいただくことが出来、ありがたく思っております。

2008 年国際協議会で自ら考案した職業奉仕を幹とする「ロータリーの樹」を発表すると共に、国内・国際ロータリーの要職を歴任された渡辺好政 RI 会長代理(RID2690PDG で元 RI 理事)による理解が容易なロータリーの基本、また、変化するロータリーへの対応等の話を伺うことが出来、多くの仲間との親睦を含め、皆さんも何かを学んでいただけたのではと思います。

さて、Germ RI 会長より、各クラブの状況把握、及び支援はガバナー補佐の務めであり、ガバナー公式訪問は、切磋琢磨するための複数クラブ間情報交換の場とするよう示唆があったため、本年度は、3クラブが 6ヶ所、本日を含め 2クラブが 18ヶ所と 54クラブが合同、残り 29クラブは単独で、7月 27日から 11月下旬の間に 83クラブを 53回に分けて公式訪問させていただく予定で、本日は、第 39回 64・65クラブ目です。ご案内の通り、6月末の富津 RC の RI 脱会により、当地区の今期は 83クラブ 2,729名でのスタートとなりました。そして日本全体では、富津 RC を含め、昨年 1年間に 6つのクラブが廃止となったことを申し添えます。

尚、私が所属する成田 CRC のコスモポリタンは世界人を意味しますが、実態は地区出向経験者も少ない活動が domestic なクラブなので、公式訪問の機会に各クラブの活動を体験させていただくべく、毎回 2人の会員が私に同行しています。本日は、先ほどご案内のありました宮田・長谷川両会員に加え、地区幹事長の藤崎が陪席させてい

たきますので、宜しくお願いします。

創立 60 年を迎えた当地区で 8 番目に長い歴史を誇る銚子 RC は、その長い歴史と伝統に基づきロータリーの基本に忠実な活動を追求すると共に、フィリピンの国際奉仕活動、また長年にわたる地域に密着した奉仕活動等に取り組んでこられたようですが、地域特性もあってか、会員の入退会も近年激しいようで、新しい時代に向けた取り組みも求められているのではないかと思います。他方、子クラブである銚子東 RC も創立 45 年目と地区では比較的長い歴史を持つクラブで、こちらは会員の和に重きを置いた運営、及び種々奉仕活動への取り組みを展開されていますが、最盛期の 79 名に比して現在の会員数は 37 名と半減しており、その回復、及び例会出席率改善等が当面の課題だと思います。地域の環境が厳しさを増す中、それぞれに特徴を持って活動を展開する両クラブの皆さんのロータリー活動に対する思いを、後ほどのクラブ協議会で伺わせていただきたいと思います。

さて、本日は、まず RI のテーマ・方針、及び地区の行動指針・運営方針について そして、2 番目にロータリーの変化と対応と、2 つのテーマについて話をします。

John F. Germ 本年度 RI 会長は、

1. ロータリーに誘われた時点で、私達は、素晴らしい仲間と出会い、そして、人のために役立つことをする大きな機会を与えられる。世界には、多くの課題、助けを求めている人がいるが、我々に与えられた機会を生かすか否かは、我々一人ひとりの行動にかかっている。そして、我々は様々な分野から集った熱心で有能な職業人の集団であり、世界を変える力、ネットワーク、及び知識の結集がある。
2. 我々は、ポリオ撲滅に取り組んでいるが、ロータリーとは何か、そして何に取り組んでいるかを地域に広め、資金援助者を含めた仲間、会員を増やすことが重要で、仲間が増えれば、我々はより大きな目標を達成することが出来る。
3. 単に会員を増やすのではなく、奉仕活動に取り組む、4 つのテストを真に実践できる会員、そして新入会員を暖かく迎え入れるリーダー、クラブが必要だ
4. P. ハリスがロータリーを創設した目的「価値観を分かち合える人をみつける」は現在も生きている。大切なのは、誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を重んじ、人類への奉仕が人生最大の目的と信ずることだ。
5. ロータリアンは平等で、私たちはチームの一員だ。皆で協力して多くの人の人生を良いものにしよう。

と述べた上で、ポール ハリスと同様、人生最大の目的は人類に奉仕することと信じ、2016-17 年度のテーマを「Rotary Serving Humanity=人類に奉仕するロータリー」としました。そして、対外的には、今やパキスタンとアフガニスタン、更に一旦終息が宣言されたが本年 8 月に 3 人の発症が伝えられているナイジェリア等の「ポリオの完全撲滅」、内部に向けては、より大きな目標を達成するための「会員増強」を重点取り組み事項とすると共に、ロータリー戦略計画に基づき、a) クラブのサポート強化、b) 人道的支援の重点化と増加、c) 公共イメージと認知度の向上に努めるよう私たちに求めました。

私は、志を同じくする人の集団は、その目的追及び活発な活動の展開に仲間の拡大が欠かせないと考えます。ただ人数が多ければ良いという話ではありませんが、ロータリーも同じで、会員が多ければ多いほど、私たちは素晴らしい仲間と出会う機会が増えます。また、奉仕活動を含めた種々の活動を活発に展開できます。そして、結果的に地域における知名度が高まり、新しい仲間の輪の拡大に繋がると思います。

「ロータリーとは何ですか?」、また、「ロータリーは何をやっている団体ですか?」と聞かれ、答えに窮する会員も多いと思いますが、私は「価値観を分かち合う仲間との Fellowship、即ち、友好を通じて自らの人間性・人間力を高めると共に、自らの職業を通じ、また、出来る範囲で周りの人の役に立つことをする心がけを持つ人の集まり」と答えます。尚、ロータリーは、職業上の高い倫理基準を求めています。私は、倫理感とは、職業だけではなく、人間として社会生活をおくる上で身に着けるべき基本と考えます。

ロータリアンとなって素晴らしい仲間との出会いを、また、他の人のために役に立つことが出来る機会を既に与えられている私達は、ロータリーに対して感謝の気持ちを持つと共に、この感謝の気持ちを分かち合う仲間の拡大に挑戦すべきと考え、今年度地区行動指針を「感謝と挑戦」としました。言い換えれば、私たちは、ロータリアンであることに感謝の念を持つことが出来るような活動に挑戦することが重要です。

東京のある RC が、去る 7 月末に東日本大震災で被災した福島盲学校の生徒・先生をハワイに招待しました。私が以前航空会社で働いていたことを知っている国際ロータリー日本事務所の職員を通じて依頼があった出発に先立つ成田空港でのお手伝いを私が手配したことから、帰国後、お礼のメールが送られてきました。その中に、参加者が、ハワイのロータリアン及び盲学校生との交流を通じて感激している姿を見て、自分がロータリアンになって良かったと初めて思ったとの

感想が付されていまして。

このように、ロータリアンになって良かったと思う事が出来る活動を一生懸命追及することが、ロータリーにとってだけでなく、ロータリアン本人にとって大事だと思います。

さて、当地区会員数は、Rの第1ゾーン最大ですが、1995年4月の4,378名をpeakに減少しました。2012年6月末の2,689名で底を打ち、その後わずかながら増加に転じ、本年6月末は2,739名でした。

しかし、地域特性もあり、当地区では2極分化が進んでいて、本年7月1日時点では、会員数が最大のクラブが80名に対し最少は5名です。50名を超える大きなクラブが14、40名台9、そして30名台20で、これらの総計は全体の5割強の43クラブです。

他方、残り40クラブは会員29名以下で、そのうち13クラブは会員が19名以下です。

3年前、私が地区クラブ奉仕委員長兼会員増強委員長を拝命した折、委員の皆さんとアンケート調査等を行い、会員増強について色々研究した結果は以下の通りでした。

- 1) 会員減少期でさえ、当地区では毎年200名超の新入会員が誕生していました。問題は、入会者と同数、あるいはそれ以上の会員が退会したことです。尚、このような知見に基づき、私が会員増強委員長を務めた翌年から地区の組織が、「会員増強・退会防止委員会」に改称されたことは、ご案内の通りです。
- 2) 後任が来る大手企業の社員の職場間異動を別にすると、退会者の多くは、高齢者、及び入会5年未満、特に入会2~3年でロータリーについての知識と理解が未だ十分でない会員でした。
- 3) 会員歴5年未満の会員が退会する背景に例会出席等の活動参加に時間的余裕がない、ロータリアンになったが活動に魅力がない・奉仕活動への取組みが少ない、幹部と意見が合わない等が多く見られました。会員増強に関する他地区資料を見ると、入会理由として職業上の繋がりが大多数で、趣味の仲間も多くありました。そして、退会理由は、仲間意識の薄れ、親睦活動に魅力が無い等が多く見られます。尚、これは避けて通ることが難しい問題ですが、日本の会員数の推移はGDPの変化に呼応しているという見方もあります。日本全体の統計では、入会1年未満での退会が7%、1~2年未満が10%、3~4年が13%、即ち、入会者の30%が4年以内で退会しているようで、その背景として会員増強に重きが置かれて入会基準が甘いという見方があるようですが、私は、そうではなく、加入したクラブの活動に魅力が無

いからではないかと考えます。従って、我々がまず取り組むべきは、縁あって入会した人がロータリアンになって良かったと思うような活動をクラブが追求すること、即ち、人類に奉仕するロータリーの第1歩は仲間に対する奉仕と考え、退会者を減らすことだと思います。具体的には、出席したくなる例会、参加したくなる親睦・奉仕活動の展開、及びロータリーを理解し、かつロータリー活動に対する関心を深める研修の強化です。

私が学校を卒業して企業に勤め始めた約50年前、職場では、部長は元より、課長の顔を見ることもまれでしたが、1990年代に入って産業のGlobalization、即ち国際化が進むと、企業間競争が激化し、大手企業でも今や課長・部長は元より、取締役も率先して仕事に直接携わらざるを得ない状況、言い換えれば職位があがるほどに仕事が厳しくなり、中には、社長も大部屋で一般社員と一緒に仕事をしている大企業も出てきました。ロータリーの根幹は職業奉仕であり、自らの職業をしっかりと務めることが第1です。従って、気ぜわしい現在の世で貴重な時間をロータリー活動に割くには、私達は、今まで以上に魅力ある活動を展開しなければ会員の維持、新規会員勧誘は難しいと思います。

ロータリーは単年度主義と言われますが、これは会長、ガバナー等の任期で、会員は毎年変わるわけではありません。従って、クラブ運営は継続性を以って行う必要があります。特に、仲間の拡大に繋がる元気なクラブ造り、研修を通じた会員歴の短い会員の育成、そして、新規会員の勧誘等は、継続的取り組みをもって対応する必要があります。

会員増強と言うと、「質か量か」の議論が先行し、行動が伴わないケースがよく見られます。クラブの中には、会員が少なくても、会員歴の長い会員を中心に模範的な活動を展開しているクラブもありますが、会員の加齢は年々避けて通ることが出来ず、このようなクラブでも、新入会員、特に若年新入会員の勧誘に力を入れる必要があります。

ロータリー活動の経験が浅い私ですが、最近地区委員、ガバナー補佐等を体験し、ロータリーには、その活動・歴史等についての知識が豊富で、研究を常に怠らない会員が多くいることを知りました。その後、私は、斯かる仲間から色々教を受けています。

クラブには、このようにロータリー活動についての識見に富んだ会員も必要ですが、多くの会員にこのような活動を望むのは難しいと思うと共に、私は、全員がこのような会員である必要は無いと思います。それよりも、例会等に参加し、お互いに意見を交わし、知らないことを学んで成長していくことが大事です。



111年の歴史を通じて変化してきたロータリーには、こうでなくてはいけない、あるいはこうあるべきだと言う絶対はなく、それより多様性が重んじられると共に、理念を求めるよりも実践・行動が重要だと思います。

従って、Germ 国際ロータリー会長の言にもある通り、4つのテスト、ロータリーの目的、あるいはロータリアンの行動規範が実践できる人、また実践しようとする人であれば、誰でもロータリアンになる資質を備えているのではないのでしょうか。ロータリアンは平等です。大事なことは、ロータリーに加入した新会員と私たちが一緒に学ぶ謙虚さを持つと共に、知らないことを教え合い、次の時代のリーダーを育てていくことだと思います。このため、今年度は、多くの新入会員を対象に研修強化を図ることが出来るよう、地区主催ではなく、AG 主催により約10年前まで行われていた分区分別会員歴5年未満会員研修を復活させましたが、結果として、ここ2年は秋の行事となっているIMの開催を年明けに戻しました。

もう1つ忘れていけないことは、創立25、30年を迎えて会員の高齢化が進むクラブの中に、会員減少が顕著なクラブが見られることで、クラブ運営は常に課題を見つけ、その解決に継続的に全員が一生懸命取り組み、この時期を乗り切ることも重要です。

私は、会員増強と言わず、あえて仲間の拡大と言いますが、全てのクラブが元気なクラブとして充実した活動を追求し、志を同じくする仲間の輪の拡大に繋げていただくよう、今年度ガバナー月信最終頁で元気なクラブを紹介しています。皆さんには、是非、他のクラブの模範となるような元気なクラブの活動をガバナー月信で披露していただくようお願いいたします。

RI 会長は会員数が50名以下のクラブには会員純増1名を求めています。皆さんには更なる活動の活性化に向けてRI 目標以上の会員純増に取り組んでいただくと共に、①来年、来年のR 財団100周年に向け、例えば地域の奉仕活動にR 財団100周年記念事業の冠をつけていただく、また、②ここ2年続いている地区としてのR 財団寄付ゼロクラブOの継続に向けた協力、そして、③情報システム化が進む国際ロータリーにaccessするためのMy Rotary 登録推進等をお願いします。

さて、本日の卓話の2番目のテーマは、変化するロータリーと、私たちの対応です。

今年1月、ガバナーになるため受講が必須の国際協議会に参加した折、来年6月に米国ジョージ州アトランタで開催される国際大会のスポンサーにコカコーラ社が指名されたとの発表がありました。同時に、コカコーラの文字とロータリーのロゴマークが印刷された赤いセロファンで包ま

れたコカコーラの瓶が晩餐会の食卓に提供されたことに、私は、ロータリーがこんなことをするのかと驚かされました。

本年4月の規定審議会では、標準ロータリークラブ定款の近来稀な大幅改定が行われました。8月15日付で地区より和訳2016年版「標準RC定款」をご案内したので、皆様には、既に新しい標準RC定款の内容について検討を始められていると思いますが、今回の大きな改訂の多くは、義務ではなく、各クラブの裁量範囲を広げる選択規定です。即ち、改定された義務規定は、主として以下の9つです。

- 1) 理事に会計を含む
- 2) 理事会議事録の作成、及び会員への60日以内の回覧
- 3) 少なくとも①クラブ管理運営②会員増強③奉仕プロジェクト④公共イメージ⑤ロータリー財団の5つの委員会のクラブ内設置
- 4) 出席免除会員の条件に、少なくとも20年以上ロータリアンであることを付加
- 5) Eクラブの名称と定義の廃止
- 6) 2017~18年度以降の人頭分担金引上げ額を現在の年間USD1からUSD4に変更
- 7) 職業分類は残すものの、会員身分の条件緩和（国際ロータリー定款第5条第2節(1)から(6)の廃止
- 8) ローターアクターとロータリアンの二重登録可能
- 9) 年会費の徴収義務は残ったが、入会金の徴収義務は廃止

これらは本年7月1日以降導入が求められる規定変更ですが、この中で、会員身分の条件緩和、及びローターアクターとロータリアンの二重会員可能は、規定として排除できないものの、クラブが新入会員の選考にあたり、別の理由で職業経験の無い人、また、ローターアクターの加入を排除することは可能です。

そして、例外規定として新たに導入された

- 1) 例会は最低月2回で良い。
- 2) 従来の会合型クラブの一部例会のオンライン化可能
- 3) 祝祭日がある週の例会は休会に出来る等は、採用するか否かはクラブの裁量に任されており、徴収義務が廃止された入会金を徴収するか否かを含め、各クラブが細則でいかようにも決めることが可能です。同時に、従前の運用形態を継続することも可能です。

尚、会合規定で例会のオンライン化が認められているため、名称は別にしてEクラブの設立は引き続き可能です。しかし、逆に言うと、これら緩和さ

れた規定に基づき、①入会金無料、②例会は月2回、③例会の1部をオンライン例会とする、④祝祭日のある週の例会は休会。但し、例会を月2回としたクラブには不適用。⑤職業経験の無い人も会員にする、⑥ローターアクトも会員にする等の運営形態を導入するクラブが出現する可能性があります。

ご案内の通り、各クラブはRIの管轄下にあり、地区の管轄下にはないため、私、または地区は、皆さんのクラブの運営形態について助言はできません。従って、地区が統一した運営基準を全クラブに指図することも出来ません。

規定に基づき、規定審議会決定事項は、会議終了後2ヶ月以内に各クラブに報告されると同時に、その後2ヶ月以内の反対意思表示が可能です。そして、反対票が有効投票の5%を超えた規定は、全クラブを対象に再度郵便投票で賛否を問い、多数決で否決されない限り、7月1日に遡って発効します。

このため、標準RC定款等を掲載した和訳「手続要覧」発行は年末になるのが恒例です。しかし、今年は大きな変更があったためか、My Rotaryで6月中旬に英文「標準RC定款」が、そしてご案内の通り、8月中旬に和訳「標準RC定款」、「国際ローター一定款」、及び「国際ローター細則」が発表されました。

また、9月中旬には、英文ですが、「2016年手続き要覧」が発表となっています。

長い歴史を通じてロータリーの基本に忠実な活動を展開されてきた銚子・銚子東RCの皆さんは、今回の規定審議会決議に拘わらず、従来の運営形態を継続されると思いますが、2016年規定審議会決議に基づく標準RC定款の内容をしっかりと確認し、規定の範囲内で、皆さんのクラブがどのような運営形態をとるかを会員間で十分に話し合い、新クラブ細則を作成していただくようお願いいたします。

但し、今回の規定改訂でクラブ間に運営形態の差異が出てきた場合、会員のクラブ間移動が発生する可能性が否めないことに留意して下さい。

皆さんには、変化するロータリーの現実を理解すると共に、各クラブがとる様々な運営形態を認める寛容さ、広い心を持って今後の活動に取り組んでいただくようお願いして、私の卓話とさせていただきます。どうもありがとうございました。



## クラブ協議会 13:45~



### 【出席報告】

会員総数 41名

出席計算 38名

出席 28名 欠席 10名 出席率 73.68%

欠席：伊東君・木曾君・越川君・丸山君

宮内(龍)君・杉山君・高木君

富永君・高橋宏明君・遠山君

### 【M U】

10/13 RAC 例会 田中君

10/18 銚子東RC 大岩君・杉山君

10/19 地区委員会会議 高木君

10/20 成田空港南RC 松本君

### 【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 3,000	計 ¥178,000
スモールコイン	¥ —	計 ¥ 15,571
米山BOX	¥ —	計 ¥ 16,660
希望の風	¥ —	計 ¥ 105,100

次週のプログラム (11月2日)

「ロータリー財団月間に因んで」

上総泰茂ロータリー財団委員長

お弁当：喜多川(ちらし)